

看護大通信

30



新潟県立看護大学

情報科学・助教授 橋本明生浩

いきなり驚きましたか？

失礼な言い方ですいません。

ネットワークで被害を受け

たという人の多くは、本人

の常識外の行動や、節度の

無さに原因があるのです。

実生活で次のことをして被害

にあった人をどう考えま

すか？

・いかがわしい雰

囲気の店に一人

で入り法外な料金を請求

された。

・見知らぬ人からもらった

食べ物やすぐ食べて、病氣

になった。

・町で見知らぬ人に自分の

住所、氏名を教えたので、

ストーカー被害にあった。

では、上の内容をインタ

ーネットの世界で書けばこ

うなります。

・あやしい雰囲気のホテルへ

ージに入り法外な請求を

受けた。

・無料サービスのプログラム

をPCに入れ、PCの調子

が悪くなった。

・インターネット掲示板に

自分のメールアドレスを記

入してから、迷惑なメール

が多く来るようになった。

実社会では、危険を自

己判断し行動しているのに、

インターネットでは、なぜか

気がゆるんでしまうケース

がとて多いのです。昔か

ら減多に起きない事、嘘の

ようなことを「千に三つも

無い」と言います。現在の

日本のインターネットユーザ

あなたが悪い！
インターネットとの付き合い方

は三千万人と言わ
れています。そのう
ち、〇、三％が特異
な人と考えても、

身が凍る思いですね。

PC環境を守るためにウ

イルス対策ソフト、侵入防

止のファイヤーウォール

等の仕組みをしても、道

具だけでは安全ではありま

せん。道具だけでは身を

守れません。

■拳銃を持っていれば、見

知らぬ外国の夜道を二人で

歩きますか？

■防弾チョッキさえあれば、

安心してどこでも行けます

か？

■ワクチンを飲めば、すべ

ての病気に安心していられ

ますか？

インターネットで被害を

受けて悩んでいる人もいま

す。たしかに、直接の加

害者に責任があるのは事

実です。しかし、加害が

外国からであれば、日本の

警察権、司法権も及びま
せん。インターネットは自
己の責任と管理で利用す
るものなのです。日常生
活での知識を生かしてイン
ターネットを有効に使う
欲しいと望みます。しかし
怖いことだけに着目して、
使用を止める必要はまった
くありません。日本中、
世界中の知識と情報をいつ
でも手にいれることができ
ます。様々な商品を驚く
ほど安く購入することも
できるだけでなく、自分の
商品も日本中に販売する
ことができる便利な道具な
のです。実社会の行動に
照らし合わせて考えて、
便利に使ってほしいと思
います。

